

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会

日 時：令和5年6月19日（月）
10：30～12：00

場 所：徳島市元町1丁目24番地
シビックセンター4階 活動室3

次 第

- 1 開 会
- 2 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会設置要綱について
- 3 委員の紹介
- 4 委員長・副委員長の選出
- 5 議事
 - (1) 令和4年度地方創生推進交付金事業の評価について
 - (2) その他
- 6 閉 会

以 上

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会 議事録

日 時 令和5年6月19日(月) 午前10:28~12:22

場 所 シビックセンター4階 活動室3

事務局 (仁木)	1 開 会 定刻より少し早いですが、ただいまから、「一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会」を始めさせていただきます。 はじめに、資料の確認をさせていただきます。 事前にメールでお送りしました資料につきまして、本日は印刷したものをお配りしております。 次第、資料1「外部評価委員会設置要綱・名簿」、資料2「事業報告資料」、資料3「地域再生計画」、資料4「実施計画」、最後に、A5サイズの冊子「カンパイ徳島」の以上6点でございます。 資料の不足はございませんでしょうか。 また、委員会後には、議事録の要旨を作成し、委員の皆さまの確認を経て、委員長の承認をいただいた後、当機構及び15市町村のホームページにて公開してまいりますので、よろしくお願いいたします。 議事に入らせていただく前に、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会設置要綱について、事務局より説明します。
事務局 (久米)	2 外部評価委員会設置要綱の説明 【配布資料にそって説明】
事務局 (仁木)	3 (新) 委員の紹介 それでは、委員の皆さまをご紹介します。昨年度から委員の変更はございません。 豊田哲也(とよだてつや) 委員でございます。 高木博代(たかぎひろよ) 委員でございます。 佐藤憲治(さとうけんじ) 委員でございます。 青木伸太郎(あおきしんたろう) 委員でございます。
事務局 (仁木)	4 委員長・副委員長の選出 続きまして、本委員会の委員長の選出を行います。委員長は、外部評価委員会設置要綱第4条第2項により、委員の互選により決定することと

	なっております。本来ですと、委員から仮の議長を選出していただき進行をお願いするところではありますが、時間の関係で、引き続き事務局で進行させていただきたいと思います。 どなたか候補者の推薦があればお願いいたします。
A 委員	引き続き、豊田哲也委員に委員長をお願いしてはいかがでしょうか。
事務局 (仁木)	ただ今、豊田委員の推薦の発言がありましたが、いかがでしょうか。 【異議なしの声】
事務局 (仁木)	それでは、委員長は豊田委員に決定しました。豊田委員長よろしく願いいたします。
委員長 (豊田)	皆様どうぞよろしくお願いいたします。 まず、副委員長を選出します。 副委員長は、外部評価委員会設置要綱第 4 条第 3 項により、委員長の指名により決定することになっております。 引き続き、高木博代委員にお願いできればと思っておりますが、いかがですか。 【異議なしの声】
委員長 (豊田)	それでは、高木委員、副委員長をよろしくお願いいたします。 5 議 事 議事に移ります。 本日の議事は、徳島県東部圏域の延べ宿泊者数、観光入込客数の重要事業評価指標の検証や KPI 検証、令和 4 年度 地方創生推進交付金を活用して実施する事業の費用効果の検証に関することです。 内容について、事務局より、報告をお願いいたします。
事務局 (渡辺) (久米)	【配布資料にそって説明】

委員長 (豊田)	ただ今の説明につきまして、ご質問はございますか。
B 委員	団体客が減っていると言われているが、それは私も実感している。今後どう集客していけばよいのか思案している。 ターゲットを団体客とするのか個人客とするのか。 もう1つは、富裕層かそうでない層かである。例えば高級といわれるホテルでは、少人数のお客さんが食事をする前に、人形浄瑠璃を見たいのでホテルに来て欲しいという依頼がある。少ない日で3～4人、多いと15人ぐらいの少人数であるが、当然、ホテルに行くと割高になるが、こういった富裕層向けの需要もあるのだと改めて実感している。 今後、高級路線と一般路線と、どうターゲットを絞ればいいのか。 イーストとくしまの考えをお聞かせ願いたい。
事務局 (渡辺)	非常に難しい問題で、これが正解という訳ではないが、まずは両輪でと考えている。 個人旅行が多くなってきた理由は間違いなく、スマホの普及である。スマホで飛行機、宿泊、レンタカーなど何でも予約でき、個人が欲しい時に、欲しい情報を取れる。 イーストでは、個人をターゲットにSNSで発信し、「いいね」をたくさんつけてもらい、発信を見た人が別の人に伝えるような、拡散の効果を期待し、個人に情報発信をしっかりとしていく。 一方で、阿波十郎兵衛屋敷や阿波おどり会館などには、バス2～3台で来て、100人前後の団体客が同じ所を一気に見ていただくことができる。そういった大型施設への団体客は減ってきているが、東京・名古屋・大阪・福岡などの大都市では、団体旅行が得意な旅行会社もあり、募集をかけ、バスを連ねて行くようなツアー需要が今もあるのは事実である。こういった所にもしっかりとセールスを行っていきたい。 そのため、阿波おどり会館や十郎兵衛屋敷、うずしお観潮船、ゼロウエストセンターなど、団体でも対応できるような観光素材を整理している。 また、昨年度から、県が修学旅行の誘致の取り組みを改めて行っており、県外の修学旅行を取り扱う学校関係への営業活動や県内の他のDMOと一緒に教育旅行の冊子を作り、紹介もしている。
B 委員	両輪でやっていくという、イーストの方針は分かった。我々もお客さんを迎える立場の一人として、しっかりと見極め、研究していきたいと思っている。

事務局 (渡辺)	補足になるが、昨年１０月からインバウンドが増えてきた。徳島でもお遍路姿の外国人をよく見かける。コロナ前に、徳島県が香港で開催したイベントに参加した香港の人から７月にメールをいただき、１１月に１６人お越しいただいた。藍染工房とその関連施設の本格的な視察をしたいとのことで、イーストが訪問交渉し、工房や地元の高校など８箇所を回っていただいた。 香港の方たちは予想以上に熱心で、香港以外の人々にもこのような分野に関心を持たれる方が多いのではないかとと思われる。今回は藍染だったが、こういったコンテンツを他にも準備して、問い合わせがあれば対応できるようにしたい。
Ｃ委員	会費の件でおうかがいしたい。一般会員は１万円であるが、どんなメリットがあるのか？
事務局 (渡辺)	賛助会員は年１０万円、一般会員は年１万円いただいている。会員には、私どもの取り組み、観光客の動向、国の動向など、いろんな情報を共有させていただいている。それ以外には、私どもが主催する意見交換会や協議会に来ていただいている。以前は来ていただいていたが、近年は、一般会員にも参加いただき、できるだけ多くの意見をいただくようにしている。賛助会員と一般会員の明確な区分けはあるが、会員には様々な情報共有を図っていったい。
Ｃ委員	ツアーなどの情報発信をもっと行えば、さらに会員が増えるかもしれない。そのためにも、分かりやすいツアーを組んで情報発信を行えば、会員も納得し、入会に繋げていくのではないかと。 もう１点。冊子「カンパイ徳島」に掲載されているお店から広告料は頂いてないのか。
事務局 (渡辺)	広告料は頂いていない。１５市町村の店に１軒１軒調整し、こちらの事業費で冊子を作成した。
Ｃ委員	観光客、特にビジネスで徳島を訪れた時にこれを見て、いいなと思った所に行ってくださいのために作られた冊子ということは理解できる。 イーストでは、藍染ののれんを作る助成をしているが、せっかくなら藍のれんを作って店先に掛けている店をもっと掲載してもよかったのでは

	ないか。藍のれんの店や、料理・地産地消を絡めて発信していくのもいいのではないか。 さらに、助成を行っている店からの情報発信をお願いしてみてもいいかと。徳島はいろんな食材が有名だが、料理として出来上がったもので有名なものがない。徳島ラーメン、半田ソーメンぐらいで、徳島の食材を使って徳島でしか食べられないもの、出来たものを食べる、という切り口で発信していくのもいいと思う。
事務局 (渡辺)	助成している店に、情報発信の協力依頼はできていなかった。検討してみたい。
委員長 (豊田)	言われてみると、カンパイ徳島には藍のれんをかけている所とそうでない所がある。藍のれんを掛けた店の紹介というわけではないのか。
事務局 (渡辺)	15市町村にわたって、万遍なく店を掲載するという方針で進めたが、掲載の調整において、委託した事業者からは、「うちは宣伝してくれなくても地元の人に来てくれたらそれでいい」と言う店もあり、店を探すだけでも苦労したと聞いた。それで、完成までに思いのほか時間がかかった。ただ、「カンパイ徳島を見て店に来た」というお客さんもおり、好意的にとらえていただいた店もある。 掲載店には今後も足を運び、関係性を継続していきたい。
A 委員	私は現在、飲食業界を調査している。東大阪市布施の地元の人しか行かない商店街にある分散型ホテルが、飲食店とタイアップした取り組みが参考になる。「大阪の下町の日常を体感する」ことをコンセプトとするそのホテルは、宿泊客に地元の人が通う飲食店での飲食（4食分）をセットにした宿泊プランを販売している。飲食店は地元客のみで商売が回っているため、はじめは理解を得るのに苦労したが、県外客を連れてくると、それまで代わり映えしなかった店の雰囲気が変わり、「地域のために頑張ってくれているなら」と協力してくれるようになった。宿泊業者と飲食業界がビジネスの関係だけでなく地域をよくするために協力することがこれから必要になっていくのだろう。 徳島も、カンパイ徳島に掲載の飲食業者と関係性を構築していき、飲食業者と宿泊業者にもお互いに「ここいいよ」と情報提供して貰い、地元の良さを盛り上げていく取り組みをしていけばいいのでは。

委員長 (豊田)	東大阪は空き店舗をホテルに改装した分散型ホテルを起爆剤にした取り組みを進めていることは知っている。飲食店と宿泊施設の関係構築は、誰が仕切っているのか。
A 委員	宿泊施設の支配人が直接飲食店にお願いに行っている。はじめはチケットや割引クーポンを持って行っていき、ホテルの常連客を確立した。
委員長 (豊田)	今回のカンパイ徳島にはクーポンや何かの特典は付けているか。制作にあたって検討したのか。
事務局 (渡辺)	付けてない。今回は、徳島のナイトタイムエコノミーを充実させるため、飲食店の紹介冊子として制作したもの。
B 委員	以前、徳島市の津田町にある「春こま」という居酒屋に船でお客を連れて行くツアーを、イーストとくしまとエアトラベル徳島さんが一緒に進めていた。この前、久しぶりに行くと言われていて、その居酒屋とはいい関係性が続いている。津田の盆おどりと食事処をセットにした「味の直行便」と銘打ったツアーは人気で、結構繁盛している。ほかに、沖洲の海賊料理「ししくい」のお店や「新鮮なつとく市」など、食事処3カ所ぐらいからお客さんに選んでもらうような、BtoBでは案内できないようなツアーが今後の個人向けにはいいのかと。
C 委員	受けると思う。どんどんSNSで発信していつてもらいたい。
委員長 (豊田)	去年のこの委員会で、水上交通を活かして観光誘客に結び付けていきましょう、という話題があったが、具体的に今回の資料のどの部分か。
事務局 (渡辺)	資料2のp23の、「第7回 2022 夏のきたじまるしえ」というイベントで、水上タクシーをNPO法人に出していただき、夜のツアーは旅行商品として、エアトラベル徳島さんに販売してもらった。 北島町だけでなく、藍住町でも同じように水上タクシーを出す「あいずみスマイリーマルシェ」ツアーを実施させていただいた。 タイの水上マーケットのようなイメージで、水上タクシーで移動し、船着き場の近くのレストランで食べて頂くようなツアーも今後どんどん考えていけるのではないかと。
委員長 (豊田)	仮設の栈橋はどこが作ったのか？

事務局 (渡辺)	国交省の許可を取って、NPO 法人が設置した。普通の栈橋は設置に認可も含め何年もかかるが、仮設栈橋なら比較的簡単にできる。一昨年調査の時にも国交省の方に来ていただいたが、国交省さんがイーストとくしまの事業を発端として新たな事業をしていただいたのには大変意義があり、今後の可能性を感じた。川の駅がたくさんできるとにぎわいが増えていい。西新町にも川の駅の近くにホテルができる。
委員長 (豊田)	徳島市のキャッチフレーズは「水都とくしま」なので、周遊ボートや水上タクシーで魅力を発信していくことが重要と思う。
B 委員	先ほどの「春こま」も一度行っていただくとよく分かるが、地元の人が日常的にいつでも行ける所で、行った先で食べて、帰りの船もイオンモールの灯りなど船上から見る夜景もいい雰囲気である。
C 委員	地元の人に良さを体感してもらって、発信するのがいいと思う。鳴門の釣り堀も期間限定ではなく、常時実施されており、釣った魚をその場でさばいてくれ、バーベキューができる。私自身とても感動した。そういう体験型観光は人を呼べるので発信していくといい。
A 委員	イーストとくしまのHPは相当充実しており、どこか徳島東部エリアでいい所がないか？と聞かれたたらHPを見て選んでおすすめしている。
事務局 (渡辺)	情報を詰め込み過ぎると、かえってなかなか知りたい事にたどり着かないといったご指摘もあるものの、今は、できるだけたくさんの情報を整理して発信していきたいと思っている。
委員長 (豊田)	コロナ禍前は「とくしま裏路地酒場探究会」によるHP記事掲載や、外国人向けに敷居が高いと思われるお店にアテンドする取り組みをおこなっていたと思うが、現状ではどうなっているのか。
事務局 (渡辺)	以前の取り組みは存じているが、コロナ禍以降、改めて再開するとは聞いていない。イーストでコロナ前のパンフレットを手作りで修正してご案内したことはある。外国人向けに英語の飲食店紹介のパンフレットがあれば更にいいと思っている。

委員長 (豊田)	外国人からの訪問者にホテル内のレストランだけを紹介するとがっかりされるが、地元の人でにぎわう庶民的な居酒屋に連れて行くとエキサイトしてくれる。そうしたニーズに対応していくことが求められる。
事務局 (渡辺)	地元のサラリーマンが日常で行くような、普通の飲食店を紹介できるようにレパートリーを増やしていきたいと思っている。
A 委員	ツーリズム徳島さんがやっているような、徳島を味わえるようなお店 3 軒を巡るようなツアーもやってみれば面白い。 B 委員のおっしゃる津田町の「春こま」も、良い取り組みだと思う。
委員長 (豊田)	着地型旅行商品造成数の説明で、目標 80 に対して 120 の造成実績となった、とある。2020 年は 47 個と多かったが、2021 年は 29 個、2022 年は 12 個と数が減っているように見えるが、その理由は何か。
事務局 (久米)	2020 年、2021 年は食とか伝統芸とかの技にスポットを当てた体験型の商品を数多く造成した。2022 年はそれまで造成した商品の誘客に力を入れるため造成数は減った。
委員長 (豊田)	これは新規に増やした分の数か？
事務局 (久米)	新規のみの数で、延べの数ではない。2019 年 32 個、2020 年 47 個、2021 年 29 個、2022 年 12 個、合計 120 個の造成を行い、4 年間の目標数 80 を上回ったという説明をさせてもらった。
委員長 (豊田)	それならば、新規造成数だけではなく、各年で実施されている数（うち新規何件）のような形で記載すればよいのでは。その方が事業成果として実態に即しているのではないか。
事務局 (久米)	検討してみる。
事務局 (渡辺)	時間をかけて造成したとたんにコロナとなり、積極的に誘客を行えない状況が続いた。今後、さらに増やしていくというより、まずはコロナ前のように誘客の受け入れ先として継続されているか 1 軒 1 軒調査している。あわせて、造成してきたものをしっかりと PR していきたい。

委員長 (豊田)	私がシンポジウムに関わった「にし阿波観光圏」の民泊事業では、コロナ後の誘客をリスタートしようとしているが、休業状態で空白だった2年間で状況が大きく変わり、高齢の経営者がこれから再開・継続するにも難しい場合があるとお聞きした。イーストとくしまの場合、どの程度当てはまるかは分からないが、「新しいお客さんがどんどん来るので一緒にやりませんか」と事業者を励ましサポートするような取り組みをお願いしたい。2020年から2021年に勢いをつけて造成した企画を見直し、リバイバルしていただければと思う。
委員長 (豊田)	他にご質問等はございますか。
A 委員	住民満足度調査の中で、イーストとくしま観光推進機構の認知度を調査する項目はあるか。
事務局 (渡辺)	観光地域づくりに関するアンケートでは触れるところがあって、資料2のP20の下から3番目の「取組への満足度」がそれに当たるのでは。
	「イーストとくしま観光推進機構と連携し、次のような取り組みを行っているが、どの程度知っているか？」との質問があり、1知っている、2聞いたことがある程度、3知らない、の3つの選択肢から答えてもらった調査がある。8.5%は観光推進活動の取り組みに対する満足度で、非常に満足度は低く、もう少し頑張らなければいけないと思っている。
委員長 (豊田)	調査はイーストさん独自でしているのか、シンクタンクとかでやっているのか。委託であれば、業者から上がってきた報告の資料もあるか。特に、住民満足度は事業成果にも深く関わるし、聞き方によって結果が違ってくる可能性がある。委員には分析のプロもいらっしゃるし、私も研究上関心があるので、後日共有いただければありがたい。
事務局 (久米)	調査は独自に企画し、東京の会社に分析を委託している。その会社は全国の数多くの団体のアンケートの分析をしており、資料2P20の調査結果、左側の平均がその全国の団体の平均で、右側が徳島東部圏域の数字であるが、アンケートの質問文も全国と比較できるように、相談しながら質問内容を決めている。今回のサンプル数は600件を超え、実態を表している結果になっていると思う。地域住民の満足度の向上があつての

委員長 (豊田)	観光推進であり、地方創生推進交付金の重要 KPI 指標の 1 つなので、令和 3、4、5 と少しでも上げていかなければならない数字である。令和 5 年も住民満足度アンケートは実施予定だ。4 年度の資料は共有させていただく。
事務局 (久米)	令和 3 年から 5 年の取り組みをふまえ、令和 6 年度以降の予定、この事業がどうやって展開していくのか見通しがあれば教えてもらいたい。
委員長 (豊田)	この交付金は管理運営経費に使える数少ない交付金で、全体予算の中でも占める割合が多い。現計画は、令和 3、4、5 の 3 年間で認定されているが、令和 6 年度以降も取りに行きたいと思っている。具体的にどう いう計画を立てるかは、今後検討していくが、メインは万博に照準をあ てることになるのではと思っている。令和 6、7、8 年の 3 年間のちょ うど真ん中の令和 7 年に万博が開催される。ビフォー万博、万博本番、 アフター万博といった枠組みで、万博の効果をいかに徳島東部圏域が享 受できるかが重要となってくる。 いずれにしても、令和 5 年度までは交付金の認可を受けているので、来 年度もこの外部評価委員会への出席をお願いしたい。
委員長 (豊田)	いろいろなプロジェクトが取り組まれ、実績がこうした形で目に見えて きた点は大変心強い。徳島大学としても、共催講座が安定した形で継続 できるようになったことを大変喜んでいる。このようなスキームは予算 の確保とスタッフの献身が大事だと思う。今後も安定的に取り組めるよ うな体制を希望している。
事務局 (渡辺)	ほかに委員から何かございませんか？ ないようですので、最後に事務局から何かあればお願いします。 本日は、長時間に渡り、委員の皆さま方から大変参考となるご意見を頂 きありがとうございました。頂戴した意見を今年度のアクションにしつ かりと反映させ、来年度にはこんなこともできたと報告できるよう、し っかりと活かしていきたい。
事務局 (渡辺)	6 閉 会 これをもちまして、本日の外部評価委員会を閉会いたします。 (終 了)

資料 2

「！」ぎっしり。 イーストとくしま観光推進機構

令和4年度 事業報告資料

地方創生推進交付金外部評価委員会
2023年6月19日



Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容

地方創生推進交付金の概要

議事内容：地方創生推進交付金の概要

＜地方創生推進交付金とは＞

「地方版総合戦略」に基づく、地方公共団体の自主的・主体的な事業を記載し作成した、「**地域再生計画**」を内閣総理大臣が認定。同計画やさらに詳細な実施計画に基づく事業に対し、国は**地方創生推進交付金**などの各種支援を行う。（現在はデジタル田園都市国家構想交付金に名称変更）



＜認定された地域再生計画＞

認定日：R3.3.30内閣総理大臣認定

計画の名称：イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現
計画期間・採択事業費：R3～R5年度の3年間、3か年事業費99,340千円

＜事業の効果検証＞

地方公共団体は、国が定めた「**地方創生推進交付金制度要綱**」に基づき、地域の実情に応じて、**効果的かつ効果的な事業に努める**。実施においては、**客観的な指標（KPI）を設定し、達成状況を検証**。

＜外部評価委員会＞

事業の直接の実施主体となる、イーストとくしまは、「**外部評価委員会設置要綱**」に基づき、**毎年度の交付金事業の実績について、専門的な観点から、事業評価・効果検証**を行い、その内容を**HP等**をと**広く公表するとともに、今後の方針や事業の改善**を行っていく。

議事内容：地方創生推進交付金の概要

徳島東部の構造的な課題

- 「阿波おどり」や「鳴門の渦潮」等のキラコンテンツがあるがゆえに、オーバーツーリズムの問題や、通年型・滞在型観光に至らず、**宿泊者数や観光消費額の増加等の経済効果が限定的**。
- 地域の魅力度ランキングでは、徳島県は下位の常連で、地域の愛着度も同様に低い。**地元を愛し、地域の価値を理解してもらい、観光地としての魅力の底上げを図る**シビックプライドの醸成が新たな課題となっている。

徳島東部の目指すべき将来像

- 人口減少社会において、「**外貨**」の獲得と**地域住民の活躍の場を創出できる“観光”**を経済施策として捉え、「**訪れてよし**」、「**住んでよし**」の観光地域づくりを推進し、**持続可能な地域を目指す**。
- 「**訪れてよし**」の観光地域づくりのため、「**価値に見合った対価を支払う旅行者**」をコアターゲットに、テーマ性の強い体験型「**ニューツーリズム**」といった高付加価値コンテンツを創出。
- 「**住んでよし**」の地域づくりを推進し、旅行者の「**訪れてよし**」と地域住民の「**住んでよし**」の触れ合いを通じて、関係人口・定住人口の増加を図る。

事業の実施内容

○ニューツーリズム推進事業

目指すべき観光地域づくりのコンセプト・戦略の明確化と、事業の着実な実施に取り組む。

具体的には、お遍路文化や徳島の自然と融合したアドベンチャーツーリズムの推進、関西の台所と評されている豊富な農産物や地域資源を活かした体験型コンテンツを観光資源として磨きあげ、「ニューツーリズム」として推進。

○シビックプライド醸成・創業人材育成事業

観光産業での創業や新ビジネスを創出するような人材育成の取組み等を推進するほか、インバウンド対応に向けて、観光ガイドなどの養成に取り組む。また、WEBプロモーションの実施等により、住民自らが地域の魅力を再発見し、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る。



<説明Ⅰ>

観光消費額、延べ宿泊者数等のKPI指標について

- a. 地域再生計画目標数値について
- b. 地方再生計画目標数値の捉え方について
- c. 令和4年度状況について

<説明Ⅱ>

イーストとくしま観光推進機構の取組について

- a. 令和4年度決算等の状況について
- b. 令和4年度の事業内容について

説明Ⅰ

観光消費額、延べ宿泊者数等のKPI指標について

議事内容：説明 I

●観光消費額、延べ宿泊者数等のKPI指標について

●重要業績評価指標（KPI）について

a.地域再生計画数値目標数値（重要業績評価指標KPI）について ※ 資料4 実施計画より

項目		2020(R2) 計画前 推計値	2021(R3) 1 年目	2022(R4) 2 年目	2023(R5) 3 年目	3 か年の累計
観光消費額 (千円)	目標	24	28 (+4)	38 (+10)	41 (+3)	41 (+17)
	実績		22 (-2)	34 (+12)		
延べ宿泊者数 (万人)	目標	109.2	144.2 (+35.0)	206.2 (+62.0)	209.2 (+3.0)	209.2 (+100)
	実績		110.2 (+1.0)	135.5 (+25.3)		
来訪者満足度 (大変満足・%)	目標	37.7	38.2 (+0.5)	39.2 (+1.0)	40.2 (+1.0)	40.2 (+2.5)
	実績		41 (+3.3)	38.7 (-2.3)		
住民満足度 (%)	目標	-	-	35.5 (+2.0)	36.5 (+1.0)	36.5 (+3.0)
	実績		33.5	32.3 (-1.2)		

※住民満足度は、R3にはじめて実施。3か年増加分「+3%」の達成のため、R4で+2%の目標設定とする。

b.地域再生計画数値目標の捉え方について

行政・交通事業者・旅行事業者など様々な関係者との協働の中で、イーストとくしまの役割を明確にし、ミッションを遂行する事で、上記目標達成を目指す。

c.令和4年度達成状況について

- ・新型コロナからの回復の遅れ、特にインバウンドの低迷で、観光消費額や延べ宿泊者数が計画数値を下回った。
- ・国等の旅行支援制度の縮小で、割安旅行が効果が薄れ、短期的に来訪者満足度の数値に影響した。
- ・住民満足度は、初年度R3が191件のサンプル数に対し、R4が420件増の611件のサンプル数で、より実情を捉えた数値となっている。

4

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容：説明 I

●観光消費額、延べ宿泊者数等のKPI指標について



その他のKPI達成状況

出典：観光庁ほか

項目		2017	2018	2019	2020	2021	2022				
来訪者リピーター率 (%)	目標	—	54.3	54.3	54.3	54.3	54.3				
	実績	—	54.3	100.0%	49.1	90.4%	49.2	90.6%	50.6	93.2%	51.1
Webサイトアクセス数 (万PV)	目標	—	25	52.5	75.0	120.0	150.0				
	実績	—	3.9	15.6%	18.1	34.5%	33.8	45.1%	67.5	56.3%	104.7
観光入込客数 (万人)	目標	—	1418.8	1450.0	1465.0	1480.0	1495.0				
	実績	1413.6	1365.2	96.2%	1421.4	98.0%	998.2	68.1%	847.9	39.5%	未発表
着地型旅行商品造成数	目標	—	—	20	20	20	20				
	実績	—	—	—	32	160.0%	47	235.0%	29	145.0%	12
ツアー造成支援数	目標	—	—	25	25	25	25				
	実績	—	—	—	21	84.0%	17	68.0%	20	80.0%	25

令和4年度達成状況について

- ・来訪者リピーター率は、コロナの流行が始まった2019に大きく落ち込んだものの、再び上昇傾向にある。
- ・Webサイトアクセス数は、2020⇒2021で33.7万PVの増、2021⇒2022で37.2万PVの増と伸び率では、計画の25万PV～30万PVを上回っており、注目度が高まっている。
- ・着地型観光旅行商品造成数は、4年間の延べ造成数では、80の造成のところ、120の造成実績となった。
- ・ツアー造成支援数では、コロナの影響から回復基調が表れ出した、2022に計画数に達した。

5

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

説明Ⅱ

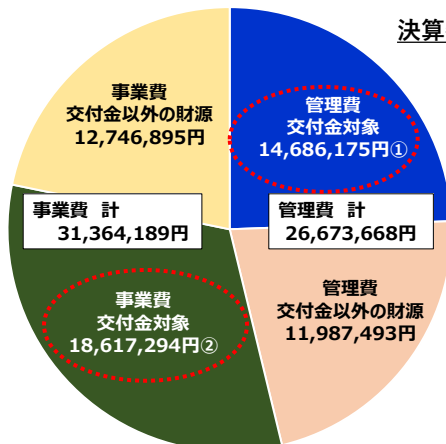
イーストとくしま観光推進機構の取組について

議事内容：説明Ⅱ

●イーストとくしま観光推進機構の取組について

a. 令和4年度決算等の状況について

決算額 58,037,857円



地方創生推進交付金対象①+②
33,303,469円

管理費	26,673,668
地方創生推進交付金対象	14,686,175
事業費	31,364,189
地方創生推進交付金対象	18,617,294
決算 合計	58,037,857
地方創生推進交付金対象	33,303,469

管理費：プロバー等件費、事務所賃料、光熱費などの組織管理運営経費

事業費：誘客促進のための各種取組に係る費用

議事内容：説明Ⅱ

●イーストとくしま観光推進機構の取組について

a. 令和4年度決算等の状況について

地方創生推進交付金の事業経費内訳

(単位：円)

	計画額	実績額	差
管理費 I	14,510,000	14,686,175	176,175
(1)プロパー等件費・組織管理運営に係る経費	14,510,000	14,686,175	176,175
事業費 ①+② II	18,490,000	18,617,294	127,294
①新たな旅行スタイルに対応したニューツーリズムの推進事業	14,250,000	14,325,095	75,095
(1)東徳島トレイル開発事業	4,500,000	4,545,134	45,134
・サステナブルファムツアー実施費、WEBプロモーション委託費、トレイルPR費等	4,500,000	4,545,134	45,134
(2)ウォーターウェイツーリズム開発事業	4,000,000	4,102,631	102,631
・海上ルート実証ファムツアー実施費、誘客促進に係るセールス費等	4,000,000	4,102,631	102,631
(3)クラフト&フードツーリズム開発事業	3,500,000	2,752,485	△747,515
・HPグルメサイト開発費、WEBプロモーション委託費、カンバイ徳島情報誌制作等	3,500,000	2,752,485	△747,515
(4)ナイトタイムツーリズム開発事業	2,250,000	2,924,845	674,845
・ナイトタイムエコノミー動画制作費、藍のれんのあるまちづくり推進事業助成金等	2,250,000	2,924,845	674,845
②シビックプライド醸成・創業者人材育成事業	4,240,000	4,292,199	52,199
・観光アンケート調査委託費・住民満足度等調査委託費、観光コーディネーター養成講座開催費、徳島誘客ラボ開催費等	4,240,000	4,292,199	52,199
合 計 I + II	33,000,000	33,303,469	303,469

7

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023. All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

●イーストとくしま観光推進機構の取組について

b. 令和4年度の事業内容について

★地方創生推進交付金を活用した事業 **R4：33,303,469円**

【ニューツーリズムの推進やシビックプライドの醸成に係る主な事業】

- トレイルを活かしたサステナブルファムツアー事業 **(1,064千円)**
- 海上交通実証運航ファムツアー事業 **(339千円)**
- ツーリズムEXPO・国内外商談会等プロモーション事業 **(1,661千円)**
- WEBプロモーション事業 **(5,959千円、うち交付金事業4,959千円)**
- ナイトタイムコンテンツ情報発信事業 **(6,496千円、うち交付金事業3,821千円)**
- 藍のれんのあるまちづくり推進事業助成金 **(1,672千円)**
- インバンドアドバイザー業務委託費 **(800千円)**
- 観光コーディネーター養成講座の開催 **(591千円)**
- 観光地域づくり住民意識調査・観光アンケート調査 **(1,861千円)**
- イーストとくしま誘客ラボ開催費 **(393千円)**

8

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023. All Right Reserved.

**b.令和4年度の事業内容について****★地方創生推進交付金以外の財源の確保**

- ・観光庁や文化庁などの国の補助金、県の補助金の獲得
- ・市町村からの事業の受託
- ・会員数の増による会費収入の確保

●サステナブルな観光コンテンツ強化事業

(3,270千円：観光庁補助事業1/2、うち2000千円イーストで実施)

●地域一体となった観光地の再生・観光産業の高付加価値化事業

(1,181,200千円：観光庁補助事業1/2⇒直接観光事業者が執行)

●文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

(44,096千円：文化庁補助事業⇒直接観光事業者が執行)

●体験型観光推進事業助成金 (1,111千円：県補助事業)**●インバウンド向けプロモーション事業 (619千円：県補助事業)****●その他事業・管理費 (9,642千円：県補助事業)****●ブレジャー推進・ナイトタイムコンテンツ情報発信 (2,000千円：事業受託)****●会費収入 (2021年の143万円⇒2023年には242万円に増)**

説明Ⅱ

イーストとくしま観光推進機構の取組について

令和4年度 重点施策への対応

議事内容：説明Ⅱ

●令和4年度 重点施策への対応

令和2～3年度はコロナ禍において、
地方創生推進交付金や観光庁補助金等を活用し、魅力的なコンテンツを造成・磨き上げ









令和4年度においては、2025大阪・関西万博の開催を見据え
「造成したコンテンツを販売に繋げる」 こととそれに向けて
・ファムツアー ・メディアツアー ・展示会・商談会 ・情報発信 を積極的に推進

10

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

●令和4年度 重点施策への対応

令和4年度は10本のファムツアー（うちイースト主催2）を受け入れ

	日程	タイトル	行程	参加旅行会社
1	9/30～10/1	エキサイティング関西ファムツアー	鳴門市・上勝町	国内 2社
2	10/20～10/21	台湾旅行会社ファムツアー	鳴門市・勝浦町・上勝町	国内 1社、台湾 1社
③	11/13～11/15	上勝サステナブルファムツアー	勝浦町・上勝町	国内 14社
4	11/24～11/25	エキサイティング関西ファムツアー	上勝町	国内 2社、中国 1社
5	11/30～12/1	瀬戸内DMO四国ファムツアー	上勝町	国内 3社
6	12/26～12/28	ワンダートランク社モニターツアー	鳴門市・徳島市	国内 1社、米国 1社
⑦	1/31～2/1	海上交通実証運行ファムツアー	鳴門市・藍住町・徳島市	台湾 3社、香港 1社
8	3/14～3/15	JNTOパリ 四国ファムツアー	鳴門市・徳島市・上勝町	仏国 6社
9	3/15～3/16	米国AGT 徳島ファムツアー	勝浦町・上勝町	米国 3社
10	3/23	クルーズ会社向けファムツアー	鳴門市	クルーズ旅行会社 2社

赤字は地方創生推進交付金を活用したイースト主催のファムツアー






11

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

●令和4年度 重点施策への対応

令和4年度は 6本のメディアツアーをコーディネート

	日程	メディア・番組名	行程
1	8/13	香港無綫電視・45日環遊日本 (TV)	徳島市
2	11/13～11/15	JNTOミラノ メディアツアー イタリア国営放送・LINEA BORDE LIFE (TV)	鳴門市・上勝町
3	1/31～2/1	海上交通実証運行メディアツアー (タイ人インフルエンサー)	鳴門市・藍住町・徳島市
4	3/9	関西広域連合メディアツアー (韓国人インフルエンサー)	鳴門市・徳島市
5	3/17～3/18	JNTOパリ メディアツアー ・ Figaro.fr (全国紙) ・ Marie France (女性総合誌) ・ L'est Républicain (地方紙) ・ Vosges Matin (地方紙) ・ Le republicain lorrain (地方紙)	鳴門市・徳島市・上勝町
6	3/17	HENRO.ORG (外国人向けお遍路サイト)	鳴門市・上板町

12

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

●令和4年度 重点施策への対応

ファムツアー、展示会・商談会から新たなツアー造成に繋がった事例（一部）



14

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

●令和4年度 重点施策への対応

視察だけではなく、上勝町をゆくりと堪能していただけるツアー商品が造成された



募集人数：8名（最小催行人数4名）
旅行代金：258,000円（阿波おどり空港発着）

1	徳島空港(10:30 集合) 上勝町(夕刻着) 徳島空港に集合。専用車にて上勝町へ。着後、上勝町のプライベートクルーズをお楽しみ頂きます。その後、③大塚国際美術館へご案内します。夕刻、上勝町を一望する南欧リゾートホテルに到着します。[11]上勝町3連泊
2	上勝町 八多町 勝浦町 上勝町(夕刻着) 午前、専用車にて八多町へ。中津峰山から流れる〇八多五萬まで順にハイキングをお楽しみ頂きます。午後、弘法大師ゆかりの〇星の岩谷の滝までハイキングをお楽しみ頂きます。夕刻、上勝町の温泉宿に到着します。[11]上勝町3連泊
3	上勝町 午前、〇標原の種田と巨石岩と水音の森が美しい〇山犬嶽のハイキングへご案内します。昼食はクラフトビール醸造所にてバーベキューランチをお召し上がり頂きます。午後、〇彩農家を訪問して果物ビジネスのお話を伺い、体験します。[11]上勝町3連泊
4	上勝町 午前、専用車にて〇経路、〇瀬戸の滝、〇慈恵寺を訪れます。午後、上勝町の〇ゼロウェイストセンターを見学します。夕食は古民家を改装したレストラン「バルトナール」にてお召し上がり頂きます。夕食後、山奥の隠れ家バー「アイロリ」にて地元客との交流をお楽しみ下さい。[11]上勝町3連泊
5	上勝町(午前発) 神山村 吉野川市 徳島空港(17:00 帰着) 午前、〇雨乞の滝と〇慈恵寺へのハイキングへご案内します。午後、四季折々の表情を見せる〇母衣暮露滝を訪れます。夕刻、徳島空港にて解散。[11]上勝町3連泊

15

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

説明Ⅱ

イーストとくしま観光推進機構の取組について

令和4年度 情報発信事業

議事内容：説明Ⅱ

●令和4年度 情報発信事業

個人旅行者比率の上昇は顕著であり、WEBプロモーションはますます重要に



R3年度 約30万PV/年 ▶ R4年度 約39万PV/年 (30.0%増)



写真の閲覧数500万回突破、Googleマップでトップクラスのフォトグラファーに認定



いいね数 R3 962 ▶ R4 1,144 (18.9%増)



フォロー数 R3 1,366 ▶ R4 1,677 (22.7%増)



フォロー数 R3 549 ▶ R4 888 (61.7%増)



徳島の魅力的な繁華街を情報発信することでナイトタイムエコノミーを活性化



宿泊施設や観光施設で配布する小冊子



ターゲット層に訴求力のある吉田氏を起用



人気Youtuberが徳島の酒場を紹介するショート動画 R5.6時点で20.4万PV

説明Ⅱ

イーストとくしま観光推進機構の取組について

令和4年度 シビックプライド醸成・人材育成事業

阿波藍染めの振興と徳島らしさを感じられる魅力的なまちづくりを推進するための助成制度
令和４年度は３６店舗の飲食店が藍のれんを制作 ※令和３年度から累計で７２件



徳島東部圏域の13の工房がのれんを制作



徳島大学・徳島県と連携し、観光業界のトップランナーを招いた講座を実施



- 第1回 これからの観光業に求められる人材
大歩危・祖谷いってみる会 会長 植田佳宏
- 第2回 観光地経営のあり方
JTIC.SWISS 代表 山田桂一郎
- 第3回 スポーツツーリズムとサッカークラブの可能性
(株)フォルトゥア代表取締役兼選手 須ノ又論
- 第4回 観光業のフードバイバシティ
フードバイバシティ(株) 代表取締役 守護彰浩
- 第5回 世界で注目されるアドベンチャーツーリズムの動向
(一社)日本アドベンチャーリム協議会理事 山下真輝
- 第6回 サステイナブルツーリズムとは
吉備国際大学社会学部 講師 大西正泰
- 第7回 観光DXの活用
ローカルビジネスコンサルタント 永山卓也



議事内容：説明Ⅱ

●シビックプライド醸成・人材育成事業

地域住民の観光に対する意識を調査するため15市町村の住民向けアンケートを実施

●調査概要

▶調査対象

- ・「徳島県東部圏域」エリア在住者 計2,000名
- ・住民基本台帳より無作為抽出、県東部圏域エリア15市町村の人口構成比に合わせ配布を行う。

▶調査方法

- ・郵送によるアンケート調査、インターネット調査

▶調査期間

- ・調査票発送：2022年11月末～12月1週目

▶回収数

- ・611件（回収率 30.6%）うち、インターネット回答 167件

●調査結果

住民意識調査主要評価項目	平均	徳島東部圏域 2022	差
活動への参加経験	35.8% →	46.3%	10.5%
取組への参加意向	16.6% →	11.8%	-4.8%
観光客増加への好感度	54.5% →	60.6%	6.1%
知名度UPに対する誇り	49.9% →	47.6%	-2.3%
取組への満足度	17.1% →	8.5%	-8.6%
暮らし満足度	29.3% →	32.2%	3.0%
暮らし誇り	25.9% →	28.3%	2.4%

20

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

説明Ⅱ

イーストとくしま観光推進機構の取組について

交付金以外の財源確保と地域一体による取組みについて

議事内容：説明Ⅱ

事業費の事業費が得る能力コンテンツを点で繋ぐ
小さな宿泊施設、小さな店舗から、人々を繋ぐ人と人の繋がりを築く

「阿波の国」の
旅マエ・旅ナカ・旅アト

旅マエ・旅ナカ・旅アト
旅マエ・旅ナカ・旅アト
旅マエ・旅ナカ・旅アト

旅マエ・旅ナカ・旅アト
旅マエ・旅ナカ・旅アト
旅マエ・旅ナカ・旅アト

事業費が人と人をつなぐ
徳島旅

旅マエ・旅ナカ・旅アト
旅マエ・旅ナカ・旅アト
旅マエ・旅ナカ・旅アト

観光庁補助金の活用

【事業概要】
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた観光地がポストコロナの反
転攻勢につなげるため、**地域一体となって取り組む観光地の高付加価値
化等**を目指した宿泊・観光施設の改修や廃屋撤去に係る費用を助成。

【事業費】
・徳島PJ 631,600千円（補助率1/2）
・鳴門PJ 549,600千円（補助率1/2）※ いずれも交付決定額

【取組内容】
・宿泊施設の高付加価値化改修（13施設）
・観光施設の高付加価値化改修（6施設）
・廃屋撤去（1施設）
・2次交通整備の実証実験（1事業）

徳島PJ・鳴門PJの事業コンセプト

超富裕層向けスイートルームの改修・ヘリポートの整備

古くなったホテルを撤去し新たなホテルを建設

客室にプライベートサウナを設置

21

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

山犬嶽・徳島の観光地

山犬嶽・徳島の観光地
山犬嶽・徳島の観光地
山犬嶽・徳島の観光地

山犬嶽・徳島の観光地
山犬嶽・徳島の観光地
山犬嶽・徳島の観光地

山犬嶽・徳島の観光地
山犬嶽・徳島の観光地
山犬嶽・徳島の観光地

観光庁補助金の活用

【事業概要】
地域の魅力の持続可能性に訪れる者も貢献できるような工夫
を織り込んだサステナブルな観光コンテンツの推進のため、地
域資源を適切に保全しながら利用するための施設改修・整
備や設備・物品購入などに係る経費の一部を支援。全国で
11地域が採択。

【事業費】
3,270千円（補助率1/2）うちイースト執行2,000千円

【取組内容】
・外国人観光客が増加している山犬嶽の英語標識整備
・茅葺き古民家花野邸の入浴施設整備

上 茅葺き古民家花野邸に五右衛門風呂を設置
左 山犬嶽周辺（約50箇所）に英語標識を設置

上勝小学校児童による標識制作ワークショップ

22

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2023 . All Right Reserved.



文化庁補助金の活用

【事業概要】

文化観光拠点施設を核に、文化資源の磨き上げ、キャッシュレス等の整備、学芸員等の体制支援、バリアフリー等の利便性向上改修や展示改修等、地域一体となった観光コンテンツの造成等の取組に係る費用を補助。

【事業費】

- ・ 44,096千円（補助率は事業メニューにより異なる）
うちイスト実施分 1,210千円 ※ 交付決定額
- 【取組内容】
- ・ ひょうたん島水上タクシーを活用したイベント実施（2件）
- ・ ひょうたん島水上タクシーを活用したツアー造成（2件）

旧吉野川の観光資源化を図るため、
イベントの目玉としてひょうたん島水上タクシー（周遊船）を活用



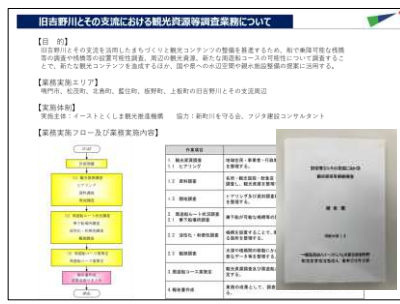
イベントの開催に合わせ、会場に仮設の栈橋を設置
約360名が旧吉野川クルーズを体験



イベントと水上タクシーを組み合わせたツアーを造成し催行



国交省の直接実施事業



令和３年度 旧吉野川とその支流の船着場候補地や観光資源を調査
調査報告書にとりまとめ



徳島河川国道事務所長をはじめ、河川整備に関わる皆様と現地視察を実施

徳島河川国道事務所が令和５年度「旧吉野川かわまちづくり検討業務」として事業化

【事業内容】

旧吉野川及び今切川流域において、流域関係者にて検討されている周遊船の活用や船着場設置の可能性との連携・調和を図り、河川を活用したまちづくりと観光コンテンツの整備を目的としたかわまちづくり計画を検討する。

予算は2,000万円。

体験型観光推進事業助成金

※県補助金の活用

概要

愛知県東部管内（稲巻市・瑞穂市、小牧市、吉野川市、阿波市・黒瀬町・上郷町、佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北倉町・森岡町・萩野町・上郷町、以下「管内」という。）の事業者が提供する「体験型観光コンテンツ」を、観光手土産・旅行商品として、コンテンツにかかる費用及び、コンテンツを提供するために必要な管内交通事業者が提供する従来の移動手段（マイクロバス、タクシー等）にかかる費用に対して助成金を交付する。

商品設定期間

令和4年4月20日から令和5年3月6日までに催行する旅行商品

助成率及び上限額

旅行商品内の
体験型観光コンテンツ等
に係る費用の

マイクロ・ツーリズム枠

2/3 (上限30万円)

一般梓

1/2 (上限30万円)

- ・14件に助成を行い、徳島東部に248人の誘客を促進。
- ・徳島東部ならではの特別な体験コンテンツを造成。



市町村からの受託事業

ビジネス客が多い徳島市の特性に合わせてブレジャーを推進

- ▶ 本制度を活用した宿泊数
- 161泊** (うち県外客 94人)
- ▶ レジャー等に支払った利用額合計
- 平均 14,399円** (中央値 9,600円)
- ▶ 感想
- ・ 日帰りできるので**普段はしないが今回の事業で宿泊**しようと思った
(香川県・飲食とお土産で16,600円支出)
 - ・ 徳島にお土産を**いつもより多く購入**した。普段は2000円程度。
(兵庫県・飲食とお土産で6,124円支出)
 - ・ **助成金があるので徳島市、徳島県に還元**させて頂きたいと思った。
(兵庫県・観光施設、お土産で15,611円支出)
 - ・ **いつもなら日帰り出張する距離**の徳島だが、今回の企画をきっかけに、泊まったことで**徳島の良さがわかってプライベートでも旅行に来た**くなった。
(兵庫県・お土産で5,500円支出)
 - ・ **以前に徳島市内を1日観光**したので、もう**充分だ**と思っていた。
今回の助成で鳴門方面を周ったが、事前の予想を超えて楽しめた。
次回、時間があれば**神山温泉**も楽しみたい。
(東京都・鳴門観光で7,500円支出)



連携事業者の増による会費収入の確保

